

学校名 深谷市立岡部小学校
所在地 深谷市普濟寺1305番地
電話 048-585-2023

1 本校の概要

本校は埼玉県北部に位置し、旧岡部町の中心地を含む市街地と農村部の混在する場所にある。豊かな自然環境に恵まれ、家庭・地域との連携を図りながら、「正しく豊かに」を学校教育目標として日々教育実践を行っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・学校図書館利用の活発化
- ・家庭や地域との連携による読書活動
- ・「ふるさと教育」をすすめ、地域の先人や偉人、地域について知る。

(2) 実践の概要

ア あじさい読書旬間（6月）・もみじ読書旬間（11月）の取組

読書旬間中に読んだ本のページ数と題名を、しおり形式のカードに記入する取組を行った。計画的かつ継続的な読書推進活動を行うことで、読書の楽しさを表現させるとともに、読書習慣を身に付けるようにした。



イ 学校・家庭・地域の連携による読み聞かせ

学校応援団の読み聞かせボランティアグループ「しゃぼんだま」による朝の読み聞かせを月3回程度実施している。



今年度は、ボランティアさんにシールドを着用していただき、書画カメラや大型の絵本を活用したりするなどの工夫、密を避けるなどの感染対策をして実施している。

ウ 「ふるさと教育」による、地域の先人や偉人を知る取組

本校出身の先人、野口源三郎がオリンピックとどのように関係があるのか知ることにより、自分の



住んでいる地域の先人について興味をもち、また、深谷市の偉人渋沢栄一翁が、新壺万円札の肖像になったり、大河ドラマ「青天を衝け」の主人公になったりしたことから、改めて、先人や偉人、地域について調べようと意欲が高まった。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア あじさい・もみじ読書旬間では、一人一人が自分の足跡をカードに書き溜めていくことで、たくさん読んだという満足感やまた読みたいという意欲をもち取り組むことができ、積極的な読書活動が見られた。

イ 地域の方による読み聞かせは、毎週月曜朝に行っている。読み聞かせは、全学年の児童が楽しみにしている活動であり、意欲的に読み聞かせを聞く児童の様子が見られた。

(2) 課題

ア あじさい・もみじ読書旬間では、個々により取組に差が見られたという反省もあったため、今後は実施形式も検討していく必要がある。

イ 今年度も、読み聞かせの開始が2学期からとなり、さらに、車座になって読み聞かせを聞くことができていない。書画カメラやタブレット等のICTを活用して、コロナ禍で感染対策を徹底した中での運営となっているが、今後も安全に行うことを一番に考えて取り組んでいきたい。

(3) おわりに

学校の図書館を利用して読書をしている児童は多く、読書が好きな児童も多い。これからは、市立岡部図書館との更なる連携、毎月14日の「意志の日」の活用、家族ふれあい読書の回数を増やすなど、家庭での読書の習慣化を図っていきたい。